

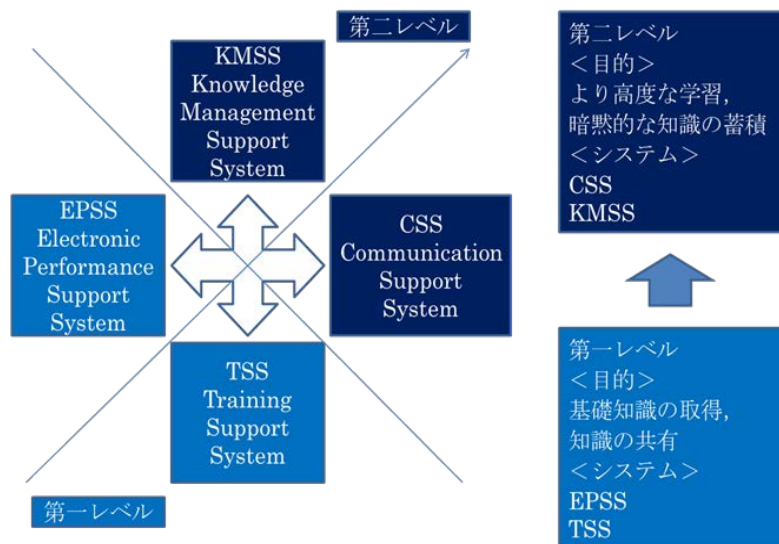
ひとわざ(一技)シーズ名: ICTによる教育支援システムフレームワーク

1. シーズ概要(200字目安) 研究技術内容 セールスポイント

知識社会の現在では、社員教育は企業の最重要戦略の一つである。
 技術の進歩が早い分野では、効率的に学習するためにICT(情報通信技術:Information and Communication Technology)の導入が不可欠である。
 社員の知識レベルを向上させ、さらに、ベテラン社員や中堅社員の経験によりえられる知識(暗黙知)を、若手社員にスパイラルに展開可能な教育支援システムのフレームワークについて研究している。

2.写真・図(技術要点説明)

教育支援システムフレームワークは、TSS(Training Support System)、C45EPSS(Electronic Performance Support System)、CSS(Communication Support System)、KMS(Knowledge Support System)の4つのサブシステムから構成され、このフレームワークの枠組みで社内教育システムを構築することにより、効率的な学習が可能となる。



3.産業への活用方向 (適応業界・分野等)

企業の社員教育システム

4.関係する大学・企業等

5. 研究室概要

学 科 名	経営情報学科	研究 分 野	研究者 名
		経営情報システム論	広瀬 啓雄
主研究テーマ	eラーニング・ICTによる教育支援システムフレームワーク		
主要キーワード	eラーニング, 社員教育, ブレンデッドラーニング, 暗黙知, 形式知		

特記事項

シーズの熟度(基礎研究)